



Pack  
12

# Ferrari

## 250 GTO



# Ferrari 250 GTO

## 組み立てガイド

- |                 |                  |       |
|-----------------|------------------|-------|
| <b>STAGE 45</b> | ファンとファンベルト、燃料ライン | P.177 |
| <b>STAGE 46</b> | マウントとブラケット       | P.181 |
| <b>STAGE 47</b> | 左ヘッドライト          | P.185 |
| <b>STAGE 48</b> | 右ヘッドライト          | P.189 |



# ファンとファンベルト、 燃料ライン

エンジンブロックに、ファンとファンベルト、そして燃料ラインを組み込んでいく。



## パーツリスト

45-1 プーリー パーツA

45-2 プーリー パーツB

45-3 ファンベルト

45-4 ファン

45-5 クラッチレバー

45-6 燃料ライン

## ネジ類

ネジD (P2.3×5mm) ×2本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 45

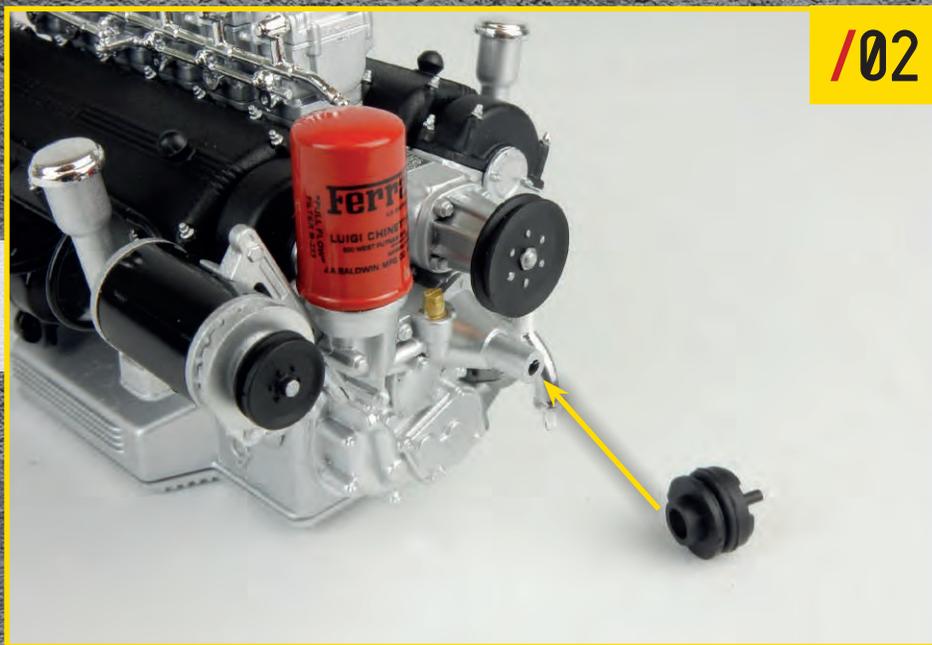
/01



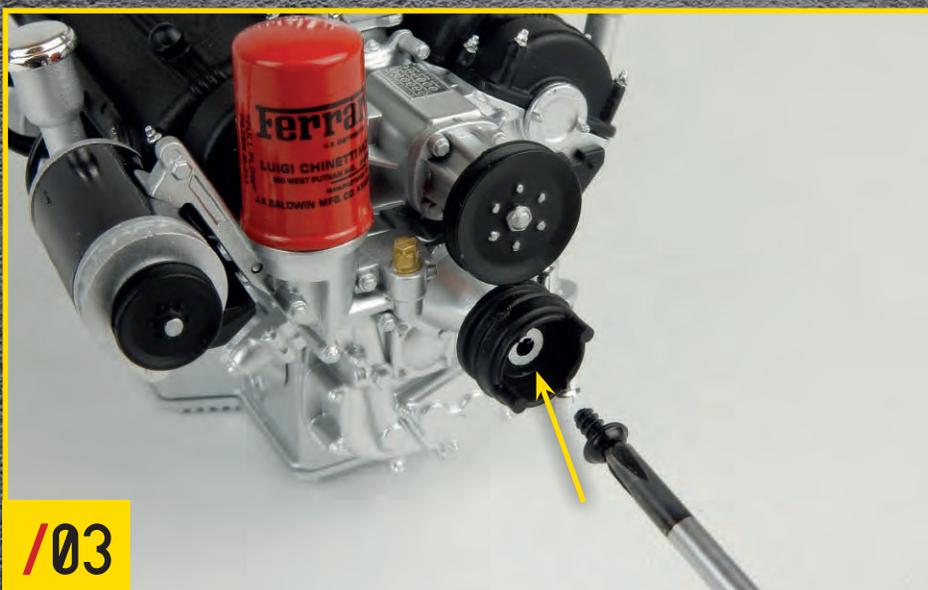
45-1(プーリー パーツA)と45-2(プーリー パーツB)を写真の向きに合わせて取り付ける。

/02

プーリーをファンブラケットに付ける。  
2つのスタッドが付いているプーリー側面を外側に向けること。



/03



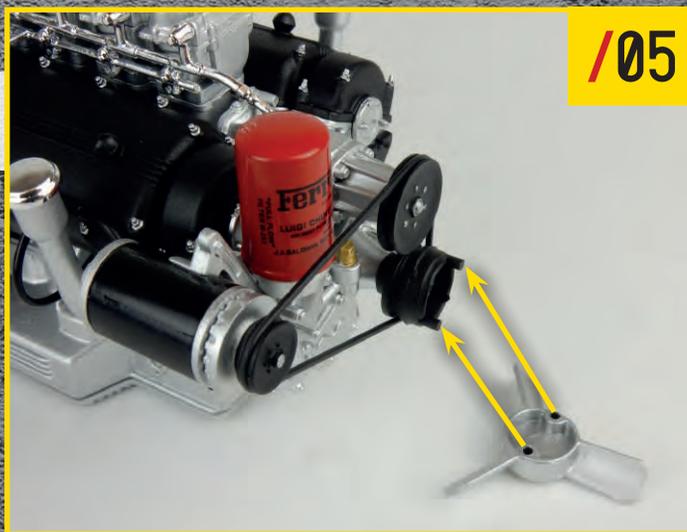
ネジ Dで固定する。



ピンセットを使ってねじれないように注意しながら、写真のように45-3(ファンベルト)をプーリーに取り付ける。エンジンブロック前方にある3つのプーリーがすべて連結していることを確認しよう。

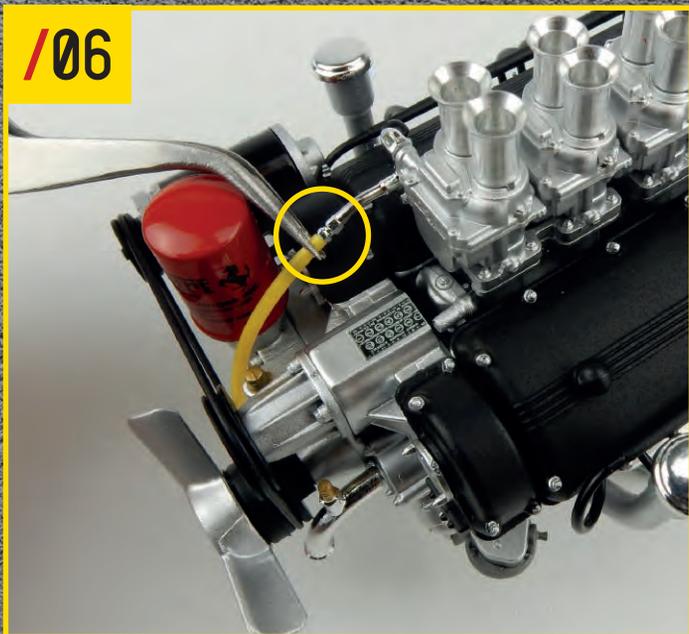
/04

スタッドが2つあるプーリーに45-4(ファン)を取り付ける。



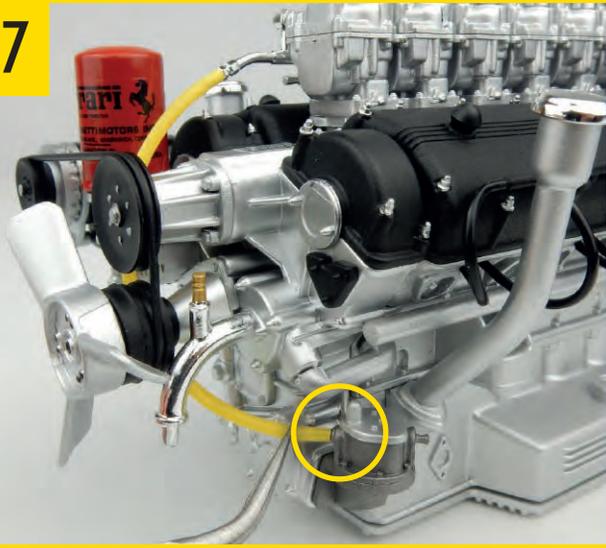
/05

/06



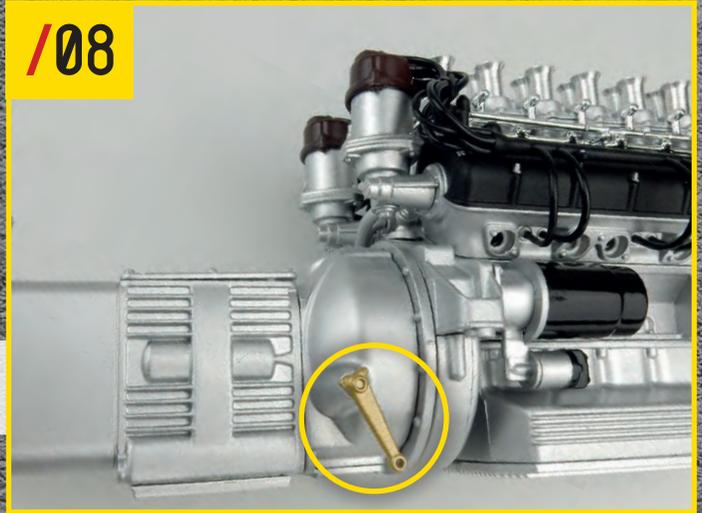
写真のように、45-6(燃料ライン)の一方の端をフィードラインのノズルに差し込む。

/07



45-6 (燃料ライン) がファンベルトの後ろを通っていることを確認して、燃料ラインのもう一方の端を燃料ポンプのスタッドに差し込む。

/08



クラッチベルの右側にある穴に、45-5 (クラッチレバー) をはめ込む。



#### STAGE 05 の完成

エンジンがここまで仕上がった。他のパーツと一緒に大切に保管しておこう。

## マウントとブラケット

シャーシにマウントやブラケットなどを取り付けていこう。

46-1



46-2



ネジB×9



46-3



46-4



ネジG×3



## パーツリスト

46-1 左ショックアブソーバーブラケット

46-2 右ショックアブソーバーブラケット

46-3 シャーシマウント

46-4 排気クランプ

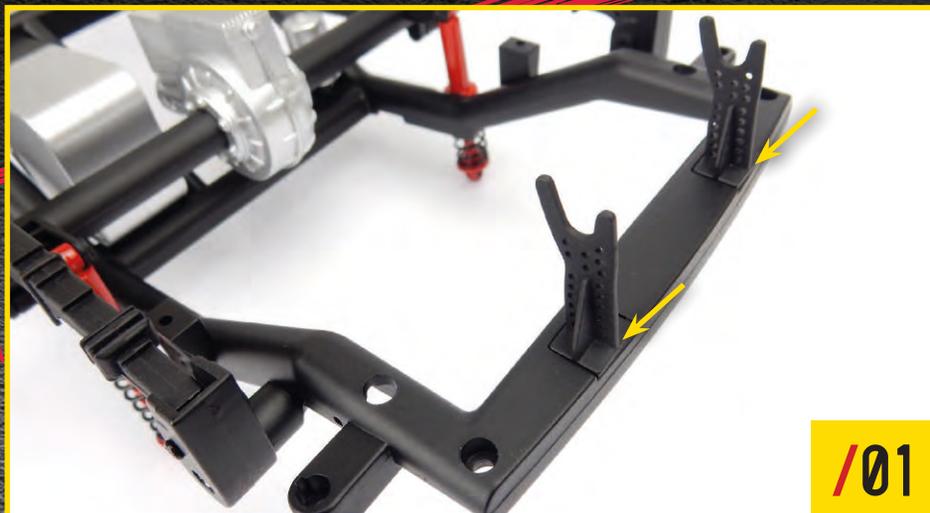
## ネジ類

ネジB (P2.3×5mm) × 9本 (1本は予備)

ネジG (P2.0×8mm) × 3本 (1本は予備)

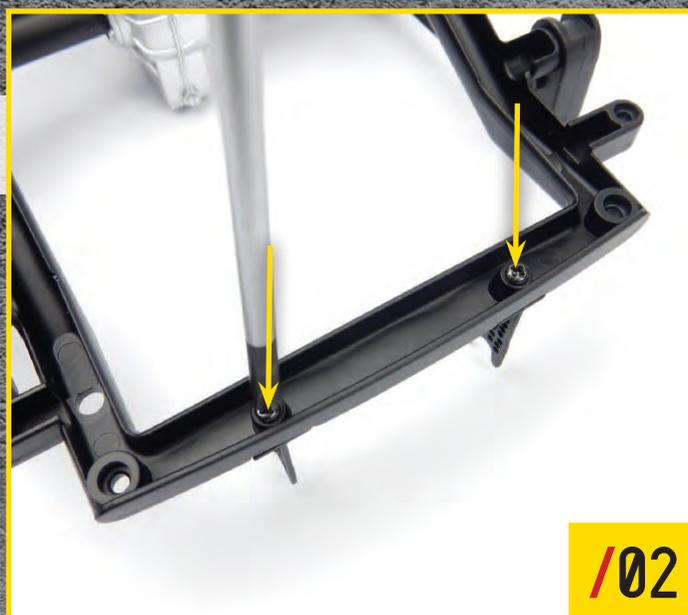
**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

## STAGE 46



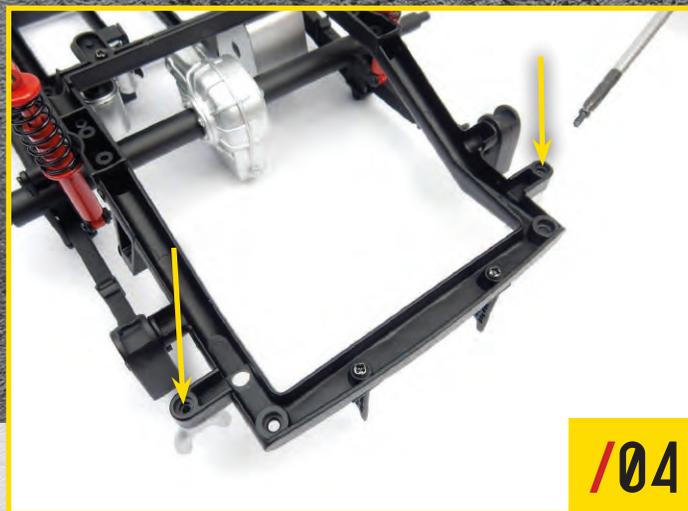
シャーシを用意し、46-3(シャーシマウント)2点を写真に示されている位置に取り付ける。

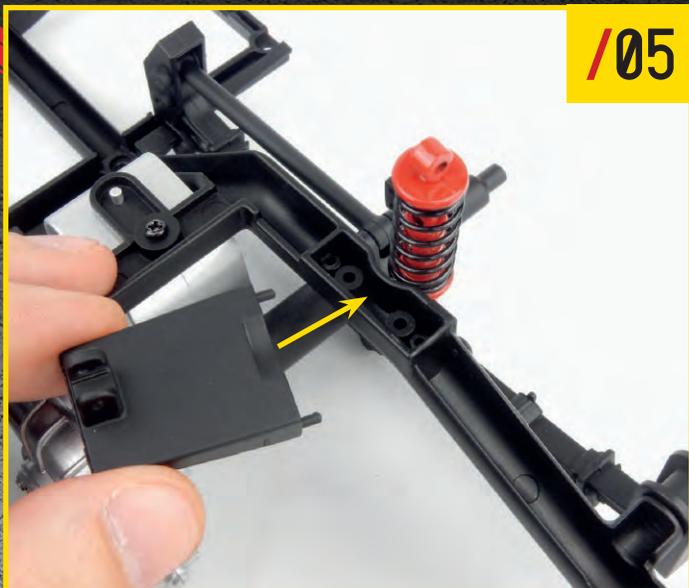
2本のネジBでマウントをシャーシに固定する。



写真のように、46-4(排気クランプ)2点をそれぞれ取り付ける。

2本のネジBで46-4(排気クランプ)を固定する。





/05

46-2 (右ショックアブソーバーブラケット、「R」と印字されている) をシャーシの所定の位置に取り付ける。

写真のように、2本のネジ B でブラケットをシャーシに固定する。



/06



/07

ネジ G でショックアブソーバーをブラケットに固定する。



手順 06と07と同様に、46-1(左ショックアブソーバーブラケット、「L」と印字されている)をシャーシの左側に取り付け、それぞれのショックアブソーバーを固定する。



**STAGE 46** の完成

今回の組み立てで仕上がったシャーシ後部。

## 左ヘッドライト

STAGE 20 で受け取ったボディのフロントセクションに、左側のヘッドライトを取り付けよう。

47-1



47-2



47-3



ネジA×3



47-4



47-5



## パーツリスト

47-1 ボンネットマウント

47-2 ヘッドライトレンズ

47-3 ヘッドライトハウジング

47-4 ケーブル

47-5 ヘッドライトカバー

## ネジ類

ネジA (M1.7×3mm) ×3本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



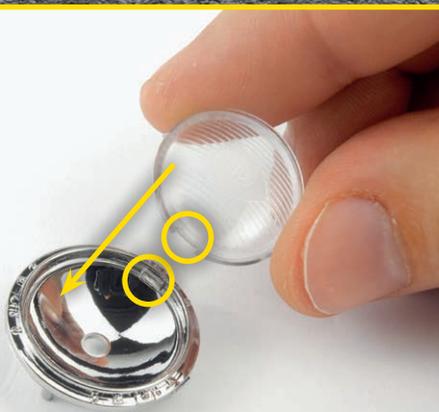
20-1 (ボディのフロントセクション)と  
47-1 (ボンネットマウント)を用意する。  
47-1 (ボンネットマウント)を、写真で  
示されている位置に、向きを合  
わせて取り付ける。

写真のように、2本のネジAで固定する。

/02

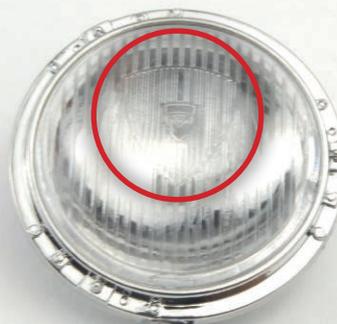


/03



47-2 (ヘッドライトレンズ)を47-3 (ヘッドライトハウジング)に取り付ける。うまくはまる位置を確認する。

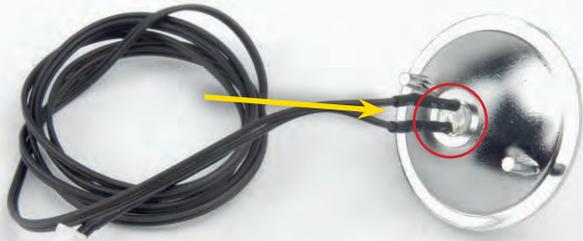
レンズには印が刻まれており、正しくはめ込まれていれば、それが垂直になるはずだ。



/04



/05



47-4(ケーブル)の端にあるLEDライトをヘッドライトに挿入し、写真のような向きにする。

47-4(ケーブル)のもう一方の端にあるコネクタを、ボディの左ヘッドライトのくぼみ後部にある穴に通す。

/06



47-3(ヘッドライトハウジング)がヘッドライトのくぼみに達するまで、ケーブルを押し込む。レンズ内の印が、写真の赤いマークにある向きと同じであることを確認する。

/07



47-5(ヘッドライトカバー)の内側の端から台紙を剥がす。

/08





左ヘッドライトのくぼみにカバーを取り付ける。



**STAGE 109** の完成

ボディのフロントセクションに、左ヘッドライトが付いた。

## 右ヘッドライト

右側のヘッドライトとエンジンフードを取り付けていく。



## パーツリスト

- 48-1 ヘッドライトハウジング
- 48-2 ヘッドライトレンズ
- 48-3 ケーブル
- 48-4 ヘッドライトカバー
- 48-5 ヒンジブラケット

## ネジ類

ネジC (M2.3×4mm) ×3本 (1本は予備)

**ヒント** ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミシンオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



48-2(ヘッドライトレンズ)を48-1(ヘッドライトハウジング)に取り付ける。レンズには印が刻まれており、正しくはめ込まれているかどうかを確認できる。

48-3(ケーブル)の端にある LEDライトをヘッドライトに挿入し、向きをそろえる。

/02



/03



48-3(ケーブル)のもう一方の端にあるコネクタを、ボディの右ヘッドライトのくぼみに後部にある穴に通す。

ヘッドライトハウジングがヘッドライトのくぼみに達するまで、ケーブルを押し込む。レンズ内の印が、写真の赤いマークにある向きと同じであることを確認する。

/04





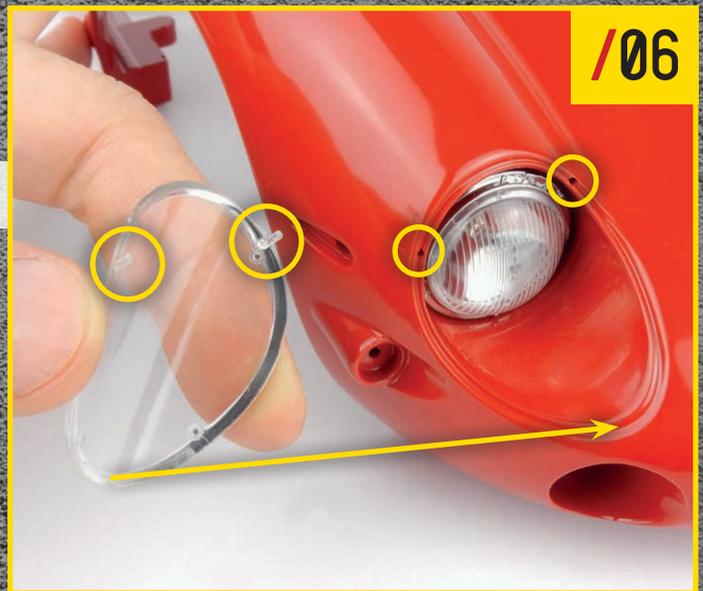
/05



48-4(ヘッドライトカバー)の内側の端から台紙を剥がす。

ボディにカバーを取り付ける。

/06



/07

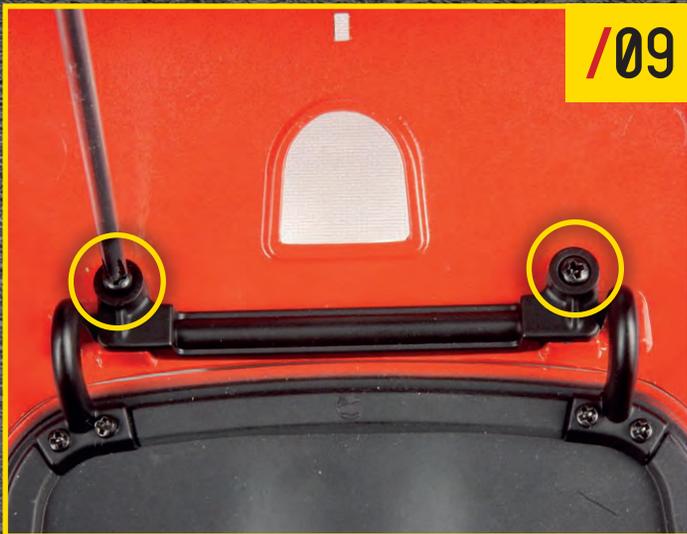


**STAGE 11** で作業したエンジンフードを用意する。写真のように向きを合わせて、ボディ前部に取り付ける。ヒンジを適切な位置に挿入すること。

穴の位置を確認しながら、48-5(ヒンジブラケット)を取り付ける。

/08





2本のネジCで固定する。



**STAGE 48** の完成

ボディのフロントセクションがここまで仕上がった。